



葛飾北斎諸国滝巡り「和州吉野義経馬洗滝」「木曽路ノ奥阿弥陀ヶ滝」より構成

受講生のみなさまへ！

2026年度前期受講生募集と説明会のご案内です。



みなさん、来期のこと気になりますよね。
ちょっとだけ教えちゃいます！

来期は48の講座・ワークショップを開講。19講座でオンライン併用、12講座で野外学習を実施します。

●受講生募集の流れ●

1/8(木)「受講生募集」パンフレット配布開始とともに受講申込み書での受け付けを開始。ホームページからの申込みは1/14(水)13時から。申込み締切りは2/18(水)

【締切り後の追加募集】定員に満たない講座・ワークショップは先着順で受講生を募集します。

●受講説明会●

オンライン参加の方のみ、申込みが必要です

1/28(水) 14:00～15:30 オンラインあり



川崎市生涯学習プラザ301会議室 定員:50名

1/29(木) 14:00～15:30 会場のみ

高津市民館第5会議室 定員:30名

1/30(金) 14:00～15:30 会場のみ

麻生市民館第1会議室 定員:30名

↑2026年度前期募集案内の表紙です

紹介制度を知っていますか？

アカデミーでは、ご紹介された方が2026年度前期の講座やワークショップをお申込みされた場合、受講料納入の確認後、その講座やワークショップが開講してから、ご紹介者の受講生の方と新規受講生の方それぞれに図書カード500円分を差し上げます（ご紹介1人に付き図書カード1枚差し上げます）。

詳細については申込みチラシをご覧ください。チラシはアカデミー事務局またはホームページにあります。チェックしてみて下さい。



《太田理事長「みどりの文化賞」受賞記念特別講演（11/15&22）報告》

今年5月に太田理事長が「みどりの文化賞」を受賞されたことを記念し、「今だからこそ、森林を考える」と題し、11月15日と22日の2回に分け特別講演会をオンライン併用で開催、会場・オンラインを含め全2回で312人と大勢の方々にご参加いただき、盛況のうちに無事終えることができました。

講演は、持続可能な社会に向けて地球環境保全と生物多様性保全に森林が果たす役割を基調に進められました。第1回では、歴史的な視点から現在の「森林飽和」の状況、法制度でも森林の多面的機能が求められていることが話されました。なかでも、社会の変化とともに森林も変化し、そのプロセスで国土環境も自然災害も変化したことを、「若い人や教育関係者にはぜひ知ってほしい」との言葉が印象的でした。第2回では、森林管理について、生物多様性保全活動の推進、森林認証制度を中心に、現代日本の森林管理の理念である「森林・林業基本法」（森林の多面的機能）は世界に通用するものであることを述べられました。

講演会でご挨拶された藤嶋名誉理事長、馬場学長、木村副学長、蔵治先生

からも素晴らしいお言葉を賜り、またアンケートでは多くの方々から「森林管理に理解が深まった」との回答をいただきました。

なお、今回の特別講演会は、後日YouTubeで公開を予定しています。ぜひ多くのみなさまに、ご覧いただければと願っています。（事務局長代行 中澤晶人）



ACADEMY NEWS 「2年会員・1年会員・聴講生」という区分を廃止します

「アカデミーの受講生は会員及び聴講生とする」、というのがこれまでの所謂「会員制度」の骨子でした。これは1993年のアカデミー創設時から続く制度であり、一般大学の「学生と聴講生」という区分同様の、すなわち、正規の手続きを経て入学し卒業を目指す「学生」と、卒業は意識せず単に講座の受講のみを目的とする「聴講生」という区分の考え方をアカデミーにも導入した（「学生」＝「会員」）という経緯にあります。

こうした区分を、今年度（2025）をもって廃止とし、以後新たな区分は設けません。

昨年度「修了制度」を廃止しましたが、その背景には、「一定数の単位を取得して修了認定を目指す」という意識の希薄化があります。また「聴講生も修了認定を可能とする」といった、自己矛盾的な制度変更を過去に実施したことから、各区分の持つ意義が曖昧になり、現在では会員区分の選択は受講料納入方式の選択に過ぎなくなっていることも会員区分の廃止の理由です。

来年度（2026）以降は、受講生全員が単なる「受講生」であって、言い方を変えれば、「修了」がない今は、全員が「聴講生」ともいえるでしょう。

なお、受講料の納入方式については、現行と変わらない3つの選択肢から選ぶ方式とします。詳しくは近々お配りする2026年度前期「受講生募集パンフレット」をご覧ください。
(事業推進部会)

ご支援に感謝します 今までこれからも

アカデミーは皆様からの受講料と寄附金で運営しています。今後とも厳しい財政状況が見込まれる中、質の高い講座を継続するために、皆さまに引き続きご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

「遺贈」または「相続財産からの寄附」もお受けしています。具体的な手続きについては相続に関する専門家がサポートしますので、事務局までご連絡ください。
寄附金 1口 1,000円（口数の上限はございません）
※ご寄附をいただいた場合、税額控除が受けられます。

問合せ先 かわさき市民アカデミー事務局
044-733-5590（平日9時～16時）

認定 NPO 法人かわさき市民アカデミー “NPO 正会員募集のご案内”

「かわさき市民アカデミー」は、NPO法人が運営している「市民大学」です。高い専門性を備えた継続的な学習の場を作り出す事業を行っています。

この事業について理解し、賛同いただき、運営基盤を強固にするため、正会員を募集しております。正会員は5月に開催されるNPO法人総会で、議決権行使することができます。

連絡先 および お問合せ先（平日9時～16時）
かわさき市民アカデミー事務局 ☎044-733-5590

久しぶりの「新刊あんない」!!

かわさき市民アカデミー
講座ブックレット No.35

『石橋湛山と
リベラル・デモクラシーのゆくえ』
共立女子大学国際学部教授
上田 美和 著

終わらない戦争や霸権国家間の対立がみられる21世紀の今日、日本の近現代を代表する言論人・政治家である石橋湛山の言論と活動の motifs、歴史的意味と現代的意義を考察する。

2022年日本史
特別講座の記録。

*アカデミー事務局
または北野書店で購入できます。
定価 880円（事務局特価 800円）



9/13(土) 開催のSDGs講演会

『沸騰する』地球 YouTube動画
公開中！ かわさき市民アカデミーの
HPからご覧ください。



2026年度前期講座・WSはこのようにして出来上りました

- ① 各講座・WS 担当のコーディネーター（カリキュラム企画・編成委員）と世話人が話し合って、次期講座・WS のテーマや内容を決定（7～9月）。
- ② 同時に当該講座・WS のコーディネーター候補（名誉教授、教授など）についても話し合う。
- ③ カリキュラム企画・編成委員会（10/6）で、テーマと内容を確認し、コーディネーターを決定。
- ④ コーディネーターに、講座・WS の日程表（各回の学習内容や講師）作成を依頼する。
- ⑤ カリキュラム企画・編成委員会（11/17）で、日程表の進捗状況と内容を確認の上、決定。
- ⑥ 必要な変更・修正は 12月上旬までに行う。
- ⑦ 48 の講座・WS が決定し、2026年1月7日には「受講生募集」パンフレット完成！

<11/17 カリキュラム企画・編成委員会の実況中継(?)> 出演はパンフレット2頁の先生方

お忙しい先生方のご都合に合わせて会議は 16 時から。Zoom にて参加の先生も。

馬場学長のご挨拶で委員会の開始。「本日の主要な議題は、講座・WS 日程表の内容を確認して決定することです」。早速、都築先生ご担当の講座1「政治・社会」から始まりました。ご出席の先生が担当する講座・WS の意図するところや内容を説明、コメントの有無を確認したうえで決定されます。

「受講生が理解し易い」ことを念頭に、テーマ名や副題などの修正意見や提案等など。また、先生が不在のときや講座によっては、担当理事や財団職員が説明することも。そして 18 時に終了。お疲れ様でした。

印象深かったご発言二つ：石井先生「今年の経験から野外活動は猛暑を避けて極力 6 月までに。」

諸川先生「長い間やりたかった美術の短期集中講座。」狙いや内容の熱のこもった説明はほぼミニ講義。

*なお、エクセレント講座（エクセレント I, II, III、現代事情、短期集中）、川崎学、地域協働講座、連携（昭和音大、アジア航測（後期のみ））講座は少しばかり異なるステップを踏んでいます。

「大盛り上がりのユニーク講座、昭和歌謡談議」の報告

2025年度後期 短期集中 103 講座「昭和の歌謡談義～歌は世につれ～」新百合 21 多目的ホール

10月に3回講座のうちの2回、NHK朝ドラ、大河ドラマなど多数の風俗考証、時代考証、洋装考証を担当されている日本大学商学部教授刑部芳則先生による講義が余りにもユニークで未だかつて経験したことのない講座だったのでご紹介いたします。

「古賀政男の世界～昭和歌謡の原点～」と「戦時歌謡を歌唱した時代」（右の写真）のテーマで先生所蔵の貴重な音源と、テレビ局の画像をふんだんに駆使、全く無駄のない立て板に水で講談、落語調の心地よい語り口で受講生からも絶賛でした。先生はメディアに多数関わっておられ、落語家林家たけ平とのコラボ「X」「刑部たけ平の昭和は歌声」で、本講座について活動報告をされるそうです。ありがとうございます。

最終回は12月11日で日本大学講師青木先生による「ビートルズという衝撃～1960年代の日本と洋楽～」です。（代表世話人 森田幸士）

白の蝶ネクタイ姿の
刑部(おさかべ)先生



出来ましたか?
答えは4ページ!

★ 「これただであげます」と言った時の関西人の返答
とかけまして、アカデミーで部会とは別に組織しています
ととく。 そのこころは、どちらも「 」でしょう。



★ もったいないのでコピー機でもう一回使います
とかけまして、長崎の有名な天主堂 ととく。
そのこころは、どちらも「 」でしょう。





世話人グループ紹介



連携（昭和音大）講座

◆一緒に「世話人」やってみませんか?◆

新百合ヶ丘にある昭和音楽大学との連携講座です。初回は2017年後期で、今年で8年目を迎えました。当初はイタリアオペラを中心に関講しましたが、最近は、ドイツオペラについても取り上げました。毎期6回の講座で、昭和音大校舎の一室をお借りしており、恵まれた環境の下で受講することができます。講師陣は、昭和音大の先生方を中心に、オペラの演出家、声楽家、指揮者など多彩です。それぞれの専門分野について大変興味深いお話を聞いていただいています。毎期最終回には、歌手の先生による演奏会で締め括ります。オペラに興味のある方には受講していただきたい講座です。

私たち世話人（5名）は、昭和音大の担当者の方と協力しながら、受付け・資料の配布及び会場の準備と後片付けまでを担っています。世話人としてアカデミーの業務に携わる楽しさや、世話人同士は勿論のこと講師の方々との交流は、オペラへの関心が深まる良い機会にもなります。興味のある方はぜひお声かけください。両手を広げてお待ちしております。

（代表世話人 産形陽子）



“かわさき市民アカデミーは引き続き「認定NPO法人」です”

11月12日、川崎市から「認定有効期間更新通知書」を受領しました。

認定の有効期間：令和7年12月4日から令和12年12月3日まで（5年間）

1年に亘ってご尽力された理事・事務局の皆さんに感謝いたします。



ご挨拶（編集後記に代えて）

8月・9月の特別講座を聴いたのをきっかけに、この秋からアカデミーの受講生になり、かわら版の編集にも参加しています、安藤節子と申します。

この12月号では、世話人グループの紹介、会員区分廃止および講座・WSの決め方などの記事から、アカデミーの運営に携わってこられた方々のご尽力の一端を知ることができました。

今後も講座、編集などを通して学んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

（地域協働）企業連携講座 「地域社会に貢献している 川崎の会社と人々」

今年で第30回を迎える企業連携講座は、これまでに川崎の企業・大学・自治体・地域団体など271組織から延べ300名以上の講師を迎え、74か所での見学も行ってきました。

そんな講座を支えているのが「川崎愛」にあふれる6名の世話人です。資料の準備や会場設営、受付、司会などの運営に加え、講座の企画も担い、「自分たちでつくる講座」を実現しています。テーマ選定にあたっては、担当理事や事務局と連携しながら、川崎市役所など関係機関からの推薦、受講者アンケート、広報誌や新聞記事などを参考に、候補を絞り込んでいきます。講演の交渉や企業への依頼訪問も、世話人自らが行っています。大変なこともありますが、すべてのテーマが確定したときの達成感はひとしおです。そして講座が終わった後は、恒例の「反省会」と称した飲み会が、世話人同士の楽しい交流の場となっています。

世話人の多くは長年にわたり活動してきましたが、これからも講座を続けていくためには、新たな仲間の力が必要です。「川崎」に興味がある方、一緒に講座をつくり上げる喜びを味わってみませんか？（代表世話人 井田修一）

認定NPO法人かわさき市民アカデミー

**発行人 広報・地域連携部会
編集人 かわら版編集委員会**

川崎市中原区今井南町28-41

川崎市生涯学習プラザ3F

電話 044-733-5590

HP はこちら↓

FAX 044-722-5761

問合せメールアドレス

info@kawasaki-c-academy.jp

<https://kawasaki-c-academy.jp/>

